

# 協会主催の 新たな取り組みが始まります



オーギュスト・エスコフィエの誕生日を記念し、フランス料理の素晴らしさをより多くの方に

## 「エピキュロスの晩餐」の起源

1911年、ロンドンに於いてオーギュスト・エスコフィエが「le Carnet d'Épicure」(快樂の手帳)という雑誌を刊行しました。この中で「エピキュロスの晩餐会」という会食を紹介したことが始まりで、1912年5月25日、グランゴワールと共に創設した「美食家連盟」によってヨーロッパの37都市で同一メニューによる第1回の晩餐会が行われました。その後2カ月に一度、この正餐は開催され、第一次大戦が始まる1914年まで続きました。

## エスコフィエ生誕160周年記念晩餐会

2006年には、エスコフィエ生誕160周年記念として世界各地のエスコフィエの弟子たちが万国共通のメニューを提供しました。日本エスコフィエ協会でも会員が所属する全国59カ所のホテルやレストランで記念イベントを催しました。



# エピキュロスの 晩餐会 2019

## 2008年に復活 日本では2012年より毎年開催

エスコフィエ世界連盟により2008年、エピキュロスの晩餐会が復活しました。そして日本エスコフィエ協会でも2012年より開催を呼びかけ、エスコフィエの誕生日である10月28日を中心に、世界共通のテーマののっとり会員のホテルやレストランで開催されてきました。これまでに多数の会場にご協力いただき、素晴らしい実績を残しており、今後も同様の形態での開催を継続します。

## そして2019年 新しい取り組み

そして本年は今まで通りの開催に加え、新たな協会主催の取り組みとして全国7都市、9カ所で各地方、地元のシェフ達が集まり、晩餐会を開催することが、理事会において決定しました。エスコフィエの料理理念や技術を尊敬する世界の料理長たちが、同時に開催するこの素晴らしいイベントに、協会としても積極的に取り組むと同時に、地区担当部門が主導で日本の各地区でこの行事を行うことにより、地方の活性化も図っていきたく考えています。

日本エスコフィエ協会だからこそ開催できるこの行事を、大きく育てていけるよう会員の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

## エピキュロス

精神的快樂主義を説いた古代ギリシャの哲学者。後世の学者たちが快樂を楽しむ思想として世に知らしめたためにエピキュリアン épicurien=快樂主義者\*の定義となっています。

※本来はギリシャ哲学スコラ学派と並ぶエピクロス学派



## 開催日時

2019年10月28日(月)

## 開催場所

- 東京 ザ・キャピトルホテル東急  
センチュリーコート丸の内  
明治記念館
- 横浜 横浜ベイホテル東急 クイーン・アリス
- 金沢 金沢東急ホテル ボールルーム
- 名古屋 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
- 京都 レストラン ラ・トゥール
- 大阪 リーガロイヤルホテル大阪
- 徳島 ザ・パシフィックハーバー

## 開催概要

協会主催のイベントとして、エスコフィエの誕生日により多くのお客様にフランス料理を楽しんでいただくため、全国各地の会場で賞味会を行います。料金や形態は各会場によって様々ですが、その地区に関わる数名の会員が料理を担当し開催されます。(料金は¥12,000~¥20,000)内容や料金、お申込み先につきましては、各会場の実施内容が決まり次第、順次ホームページにて告知してまいります。